

光星学院創立60周年式典

さらなる発展へ決意新た



式辞を述べる法官新一理事長

八戸

学校法人光星学院(法官新一理事長)は12日、八戸市公会堂で創立60周年式典を開き、生徒や学生、学校関係者ら約1500人が学校設立の背景から現在に至るまでの歩みを振り返り、さらなる発展に向けて決意を新たにしました。

この日は山下幸子理事

(佐藤雄)

が、創設者中村由太郎さんの生涯になぞらえながら、学校の歩みを説明した後、法官理事長が「今後も個性の尊重を図った教育を進めていく」と式辞。大島理森衆議院議長や小林眞市長が祝辞を述べ、八戸学院短期大学部幼児保育学科の生徒らによる式歌「ハレルヤ」の合唱で締めくくられた。

八戸学院光星高の生徒会長、中里優大さん(18)は3年間は「節目の年の式典に参加でき、母校を誇りに思う」とのりらしい表情で語った。